

「西部圏域振興計画(第5期)」(2023年度～2026年度)の基本的な考え方(案)

2060年頃の将来像
〈長期ビジョン〉

豊かな風土と輝く人々が
世界を魅了する にし阿波

安全・安心で健やかな暮らしが
未来を育む にし阿波

受け継がれてきた伝統と
多様な交流が
新たな価値を創造する にし阿波

大阪・関西万博(2025), WMG(2027), さらにその先のSDGs達成(2030)を見据えて

2030年頃を見据えた施策の方向性
〈中期プラン〉

1 観光・移住・交流によるにぎわい創出

- インバウンド回復に向け
欧米豪やアジアへの官民連携による
戦略的プロモーションの展開
- 「世界農業遺産」「農泊」など地域資源
を活かしたサステナブルツーリズムの推進
- 観光関連施設のDX推進、
観光人材の発掘・育成による
さらなる受入環境整備
- 移住や交流人口拡大に向けた
「にし阿波の魅力」発信強化

2 豊かな地域環境の未来への継承

- 地域を挙げた自然保護活動や
小中高生をはじめ未来を担う人材育成
- 「日本の宝・剣山ファン」拡大に向けた
さらなる魅力発信
- 森林資源の有効活用と、
「伐って」「使って」「植える」
「循環型林業」推進によるGX加速
- 野生鳥獣の適正管理と「にし阿波ジビエ」
のさらなる普及・拡大

3 安全・安心な地域づくりの推進

- 安全・安心な暮らしを守る
「にし阿波の強靱化」に向けた
防災DXの推進
- 「西部健康防災公園」の拠点機能
を活かした災害対応力の強化
- 高病原性鳥インフルエンザ等に
迅速・的確に対応できる
「家畜防疫体制」のさらなる強化
- 「傾斜地農耕システム」を活用した
SDGs教育の推進

4 誰もが健やかに暮らせる地域の実現

- 「こどもまんなか社会」実現のため
地域全体で子育てを支援する
「チーム育児」の推進
- 誰もが地域で安心して暮らせる
「地域共生社会」の実現
- 障がい者就労の促進に向け
にし阿波ならではの農福連携を推進
- パラスポーツの裾野拡大や
糖尿病をはじめとする
生活習慣病対策の充実

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

持続可能な「にし阿波」の実現！

5 “強み”を活かした地域経済の発展

- 「世界農業遺産」「千年のかくれんぼ」の
ブランド力強化による販路拡大
- スマート農業の実装加速と
環境負荷低減と生産力向上を両立する
「持続可能な農業」の浸透・拡大
- ドローンやGIS等を活用した森林把握や
生産性向上による地域林業の活性化
- SO誘致に向け、にし阿波ならではの
フレキシブルワークやワーケーションの推進